

学 園 通 信



No. 236

九里学園高等学校 P T A

2008.7.17 発行



● 特集 「KEITAI」



人とのつながりって何だろう？

TAI

ブログ サイト Mixi

って何だろう?

先日、三年生の庄内旅行で三川町防災学習館で地震の体験をしたそうです。何と次の日、あの岩手・宮城内陸地震が起こりました。こんな時の連絡手段としての携帯とは？日頃子供達は携帯をどんな風に使っているのでしょうか。

生徒の皆さんにアンケートをいただきました。

男子ベスト6

1 連絡用

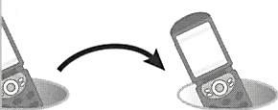
2 メール

3 友達

4 ナビ

5 動画

6 暇つぶし



の橋渡し



悲しかったこと

- ☆相手から返信がない、無視された
- ☆エラー表示が出た
- ☆携帯を破損した（落下、水没）
- ☆高額請求が来た

アンケートからみえたもの 二年男子保護者

アンケートを通して感じる事は子ども達は携帯を通じて常に友達と繋がっていたいという想いが見えて来る様な気がします。その中に「不安」「孤独」「焦り」があり、今の時代の人間関係の難しさを感じてしまいます。携帯は非常に便利で手軽です。しかしその反面、金銭的な問題、不特定多数の危険にさらされる怖い物でもあるのです。一度手にしてしまうと生活の一部と化してしまい、どう使いこなすかは個人の自覚に頼るしかありません。

自分なりに上手に使いこなすには、まず危険なものとは「何なのか？」を知っておく賢さも必要なのではないでしょうか。そんな事を切実に感じてしまいました。

親の立場から 二年男子保護者

親や友達とすぐにコンタクトすることが出来る携帯電話は、誰とでもメールアドレスを交換する事によってコミュニケーションがとれる、友達との待ち合わせなどもスムーズに出来る、など便利なこともたくさんある反面、友達との楽しいはずのメールのやりとりが、いつの間にか誰かの誹謗中傷になったり、知らない人とも簡単に親しくなったりすることによって、思わぬ事件やトラブルに巻き込まれるといったことも起きています。子供がどのような使

特集



KEI- 人とのつながり

携帯は
心と



女子ベスト6

- 6 情報収集
- 5 サイト
- 4 音楽
- 3 友達
- 2 メール
- 1 連絡用

困っていること

- ☆迷惑メールが来る
- ☆料金が高い
- ☆知らない電話がくる
- ☆電源が切れる、圏外
- ☆悪用される

話をし、家庭でルールを決め、携帯電話利用を見守っていく必要があると、今回のアンケートを見て感じました。

今どきの携帯事情
二年女子保護者

私は冬期のみ社員として勤務しています。社内での連絡手段は携帯です。また、説明をしたりする場面では携帯のカメラを使用すると効果があります。友人に聞くと作業中は携帯の使用が禁止されているとも聞いたりします。

しかし、いくら携帯が便利になったとはいえ、今、会話が「可」なのか「不可」なのかを確認しないと、相手に迷惑になってしまいます。

私は、一回だけ救急の時に使用した事があります。あの時、短い事柄を正確に伝える難しさを知りました。

携帯電話について 生徒課長 大浦 勤

私は「携帯電話はナイフと同じである」と考える。どちらも使いたいとき手元に無いと非常に不便である。だがしかし、使い方を間違えると人を傷つけたり殺したりする道具にもなることがある。つまり便利な物の反面、危険な物でもあるのである。このことは、全国で起きている「ネットいじめ」による青少年の自殺事件や、「出会い系サイト・ネット掲示板」などを利用した性犯罪の例からも窺える。

保護者の皆さんは、このことを充分に承知の上、子供たちに携帯電話を持たせているのだろうか。開設しているホームページやプロフィール、またブログへの書込み内容、アクセスしているサイトなど、もう一度お子様の携帯電話をチェックしていただきたい。お子様を守るために!!

豊かな人生を送るために

PTA会長 後藤 利明



まもなく夏休みを迎える時季となり、二三年生はもとより、一年

生はすっかり高校生活にも慣れ楽しさを満喫している頃でないでしょうか。しかし、学生の自分は勉強であり、今は知識を蓄える年代であることを忘れてはなりません。部活動などで学習時間を確保することがなかなか難しいとは思いますが、自分の未来を考え、強い意志を持って日々努力すれば目的は叶うものです。また、知識があるだけでは人としては社会に通用しないことも事実です。相手から信頼される人にならなければ良好な人間関係を築くことはできません。学園の教育理念「礼と護」の精神は、豊かな人生を送るための最良の教えであると思えますので、しっかりと身につけて卒業して欲しいと思います。次代を担う子どもたちの「人ととなり」をつくるのは、私たち保護者の務めでもありますので、PTA活動等とおして、その大切さや親の思いなどを子どもたちに伝えていきたいと考えています。

三位一体となって目標に進もう

三学年部会長 大橋 栄市



本年度も学年部長をお引き受けする事になりました。

た。よろしく願っています。生徒の皆さんには、進級してから三ヶ月が過ぎ、学園生活や学級生活にも慣れてきたころと思います。この時期に必要なことは現実的に即した各自の目標を定めることです。三年生にとっては目標に向かって実践している時期でもありますが。目標を立てるとき、実践していくときに様々な岐路に立たされる場合がありますが、先生や保護者の方とよく話をして解決してほしいと願っています。私達保護者も生徒達の目標達成のため常に関わり合いを持っていきたいものです。生徒、先生、保護者が三位一体となってよりよい学園生活をしていきたいと思えます。今年一年間、皆様のご協力、ご支援よろしく願っています。

子供達の成長に思うこと

二学年部会長 斉藤 洋一



本年度、二学年部長を務めさせて頂く事になりました。どうぞ宜しくお願い致します。

時の経つのは早いもので、九里学園に入学させて頂いたと思っていれば、もう新入生を迎え、二年生になりました。子供達は勉強に部活動、そして生徒会活動と中間学年として充実した毎日を送っている事と思います。先で行われた二年生の保護者懇談会にもたくさん保護者の方々に出席して頂き、改めて保護者の皆様の教育への情熱を感じた次第です。今、世間では凄惨で猟奇的な事件が毎日の様に起こっています。心の闇が引き起こしている事件なのでしょう。犯人の生い立ちを見ると、必ず子供の頃からサインを出しています。私達保護者はきちんとそのサインを見逃さず、正面から子供達と向き合わなければならぬと思えます。人の為に自分は何が出来たのかを常に考えて生きていく大人に成長してもらいたいと思えます。人生で二度とない青春のページを充実した、そして最高の思い出になる様に私達保護者はサポートしていきたいと思っています。

人の縁とは…?

一学年部会長 浅井 和



「人の縁とは…」という表現がありますが、まさに思わぬ？

「ご縁」があり、この度、部会長を務めさせて頂いたことになりました。できれば「近からず、遠からず」的な立場でお世話になれば…と思っておりましたが、「ご縁」と「親としての責任」から背中を押されました。微力ではありますが、子どもにかかわられる幸せを感じながら、お役に立つことができよう努めていきたいと思っております。さて、「人の縁とは…」に続く言葉は、その状況によって「不思議なもの」や「奇遇なもの」であったり、「面白いもの」であったりするようです。否定的にも肯定的にもとれる感じがしますが、九里の学び舎を介しての「縁」がすばらしきものなることを期待せずにはいられません。そのためにも、子どもだけでなく保護者の私達が、「縁」を深められるよう「かわり」を大切にしていきたいものです。

学年行事 特集

プロGRESSIVE

6/12~13

山大見学

一年 雪野翔太郎

クラス行事として、一年六組は山形大学見学に行ってきました。施設を案内してもらったり、研究室を訪れ、いろいろ説明をもらいました。中でも、今話題の有機E1の研究は世界の最前線で誇れる研究である事を聞き驚きました。僕も、山形大学のようなとても緑豊かで設備の整った大学へ進学したいと思います。



仙台研修

二年 長谷川成美

私達は二日間、仙台研修に行ってきました。

一番印象に残った河合塾では、日々の勉強の仕方などを話していただき、今までの自分の勉強方法を見直すことができました。

大学見学では、資料では分からない大学生活の様子を生で見ることができたので、良かったです。

今回の研修を生かし、これから進路実現に向け、頑張っていきたいです。



一泊二日の修業

三年 平吹伊久美

私たち三年プロは、校長先生の案内で庄内旅行に行きました。羽黒山は勿論のこと、大日坊や湯殿山などの神社仏閣を中心に回りました。二四四六段登った所にある宿坊に泊まり、精進風料理を食べました。

二日間という短い時間でしたが、様々な場所で様々なお話を聞き、少しでも修験者の気分を味わったそんな旅行でした。



ユニバーサルコース

一年男子

☆4/12〜13 宿泊ホームルーム
 ☆6/12 二十kmトレッキング
 ☆6/13 植樹



宿泊ホームルーム

一年二組 後藤 奨平

僕が一番印象に残っているのは、三年生の先輩方による「アイスブレイキングゲーム」でした。まだ高校に来て間も無く、友達もいなかったのが最初は孤独感がありました。ですが、いつの間にか皆の中に溶け込んでいてすごく楽しかったです。次の日の朝はピザ作りをして最高の朝を迎えることができました。とても充実した二日間でした。

隠されていた自然

一年一組 遠藤 尚

初めは、みんな元気があったのですが長い距離を歩くにつれて、みんなの体力もなくなり疲れが見られるようになってきました。ですが、周りの景色には疲れを感じさせない、私たちの住んでいるところにはない自然が隠されていました。この体験で感じた自然を守るために、私たちができることをしていきたいと思っています。



Cherry Tree

一年一組 皆川 賢太

俺は、最初植樹に行くのを面倒くさいと思ってた。そして行った後も「早く終わらないかな」と考えていた。だがその考えは桜を植える雑草を刈り取るうちに少しずつ変わっていった。腕を擦りむくなど苦い思いもしたが、自然に触れ、その疲労感は心地良いものに変わっていた。

最後に俺は自分達の植えた桜にこう念を込めた「大きくなれよ」。

一年女子

☆4/10~12 宿泊HR

☆6/12 二十kmトレッキング

☆6/13 施設ボランティア



宿泊ホームルームに参加して

一年三組 新野 成美

宿泊ホームルームでは、三年生の先輩方とゲームをしたり、夜みんなで怖い話をしたり、礼と譲を学んだりしました。一年三組のみならず約二日間一緒に過ごしてみることが楽しくて仲良くなることになりました。それに、九里学園の生徒として大切なことを校長先生、直子先生から学び、あらためて九里学園の一生徒だということを実感できました。

これからの生活に生かして、楽しい思い出をたくさん作っていきたいと思います。



仲間と達成する喜び

一年五組 佐藤 穂波

二十kmトレッキングをする事は楽しいと思っただけで実際にやってみると、とても大変でした。それでも一年生全員が達成できたのは、一人一人の気持ちと仲間となった人達の協力があったからです。この二十kmトレッキングで学んだ事はこれからの自分達の学校生活にいかしていきたいと思いま



ボランティアとは

一年四組 島貫 裕子

私はこの施設ボランティアをして、大切なことを学ぶことが出来ました。窓ふきをしたのですが、施設の方がとても忙しそうにしてる様子を見ました。その姿を見て、ボランティアとは、手がまわらないほど大変な人の手助けであることだと感じる事が出来ました。また、こういう機会があったら参加したいです。



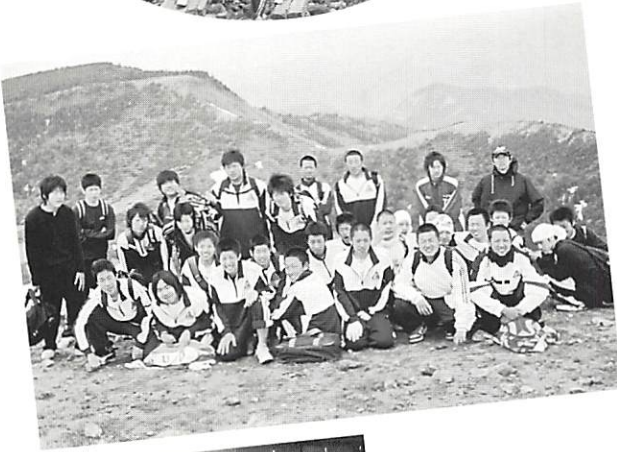
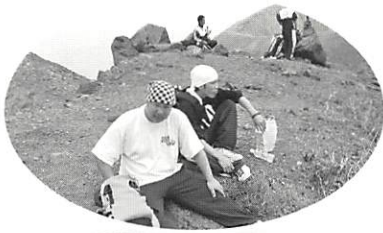
ユニバーサルコース

二年 学年行事
男子 6/12~13 東吾吾
一切経登山

学年行事での感想

二年一組 情野 裕作

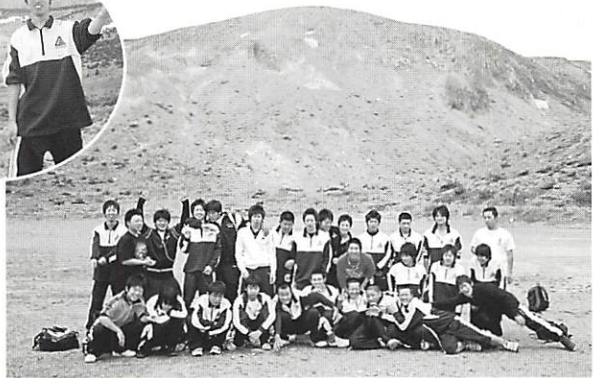
僕たち二年生は、学年行事で、福島県は一切経山へ登山に行ってきました。ほとんどの人が初めての登山で、岩場を苦戦しながらも、五色沼まで登りました。降りる時は、道が険しく、厳しく、登り以上に大変でした。なんとか無事ホテルにも着き、一泊して楽しい時間をみんなと共に過ごせて良い思い出になったと思います。



一切経山登山

二年二組 遠藤 康太

学年行事で二年生男子は福島にある一切経山に登山してきました。登りは岩が多い急斜面で、下りは雪が残る湿地帯を歩き、雪の上を滑り落ちてきたりなど多少大変な所はあったが、頂上から見える五色沼や周辺の湿地帯の景色は、とても綺麗でした。今回の登山ではとても充実した時間を過ごせたと思います。



二年 学年行事
 6/12~13 猫魔ヶ岳
 女子

初☆猫魔ヶ岳登山

二年六組 佐野比奈子

今回の登山は、想像以上にキツイものでしたが、集団行動を通して協力する事や、周りの人への気遣いなどたくさんのお話を学べ、勉強になりました。

誰も怪我することなく、一人ひとりが楽しんで登山が出来、とても良い経験が出来ました。この登山を通して学んだ事を、これからの学校生活に生かしていきたいです。



登山

二年四組 近野 桃子

天気がとてもよく、きつい山道がたくさんありましたが四組は元気に歩きました。夜は、みんなでお風呂に入り、裸の付き合いをしたり、キャンプファイヤーでちびまる子をみんなで踊りました。四月当初からくらべてみんなが一致団結でき、関わりがなかった人とも交わることができ、楽しい二日間で色々学べた登山でした。



一泊を通して

二年五組 渡部 茜

二学年初めての学年行事。朝から山登りを体験し、疲れながらも宿泊先に着き、班ごとに部屋に分かれました。クラス替えになり、初めて話す友達や、一年生の時から友達と同じ部屋になり、とても楽しい一泊をすることができました。この行事で一泊を通して、山登りの大変さと共に、クラスや友達との「絆」が深まりました。



キャンプファイヤーを通して

二年三組 堤 絢

二年女子は学年行事で登山に行き、その夜にキャンプファイヤーをしました。火を囲んでクラスの出し物や花火などして、大いに盛り上がる事が出来たと思います。私のクラスは歌を唄いました。準備不足な面もあったけどクラスの絆が深まって良かったと思います。この行事を機に更に絆を深め、これからの行事や日常生活に臨みたいと思います。

ユニバーサルコース

三年生 6月12～13日

庄内旅行

加茂水族館を見学して

三年四組 田村 圭子

四組は一日目に加茂水族館に行きました。加茂水族館には二十三種類ものクラゲが飼育されていて、展示種類数世界一の水族館です。見たことのないクラゲがたくさんいてクラゲだけでも楽しめる所だと思います。また、加茂水族館でしか食べるのできないクラゲアイスは初めての食感でした。貴重な体験ができてよかったです。



五月雨をあつめて…

三年五組 高橋由佳梨

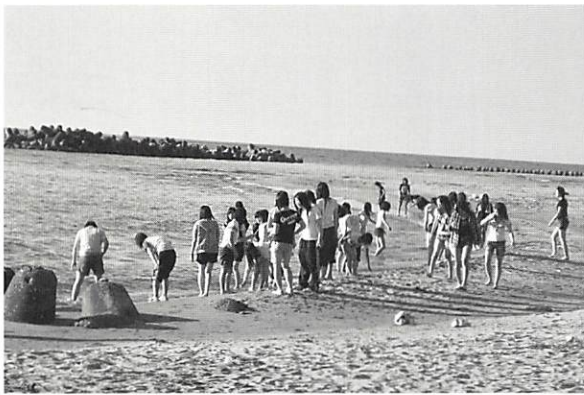
庄内旅行の一日目、私たちは「最上川舟下り」を体験しました。16kmを約一時間で下りました。舟下りには、ずっと歌を聴いているイメージしかなかったのですが、意外と船頭さんの楽しい話が多く、私たちが歌と話の両方で楽しませてくれました。

沢山の自然の中で、時間を忘れさせてくれるとても素敵な良い経験でした。

庄内旅行を通して

三年六組 高橋 美香

私たち六組は二日間、実になる体験をしました。一夜干し、ろうそくの絵つけをしました。私は三川町防災学習館で、過去にあった地震を体験しました。翌日には、岩手・宮城大地震が起き、被害がたくさん出てしまいました。この旅行を通して、クラスに団結が深まったと思います。もっと団結力を高められる六組にしたいです。



楽しかった庄内旅行

三年七組 佐藤 舞

二日間天候にも恵まれて、とても楽しく旅行することができました。庄内の素晴らしい大自然や、古くから残る建築物、そして水族館のとてもキュートな生き物たちと触れ合うことができ、体で感じ、いろんなことを学ぶことができました。クラスとしての絆もいっそう深まり、とても充実した庄内旅行でした。

東北公益文化大学を見学して

三年一組 原田 達也

東北公益文化大学を見学してみて一番最初に感じた事は、大学生の方々が挨拶して下さりとても好感が持てたことです。

校舎を見学してみても教室が小さく造られており、少人数の授業を行っている事を知り、とても魅力的に感じました。少人数だと分からない所が聞きやすく、教えてもらえる回数が増えると思うのでとても良い制度だと思えます。

自分も大学を選ぶ時には少人数制などを重視して選びたいと思います。



最上川舟下り

三年二組 高橋 優規

今回の庄内研修で最上川の舟下りをして、自分たちのところから流れ始めた川があんなにも大きな川になって海に流れていたことに驚きました。

船頭さんの語りや舟歌などもあり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

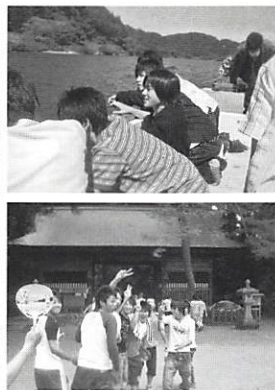
皆さんも機会があれば行ってみたいと思います。

羽黒山神社を見学して

三年三組 長岡 隆平

隨身門から始まる表参道は、全長一・七キロ、二千四百四十六段の長い石段が続き、両側には樹齢三五〇〜五〇〇年の杉並木が続いています。途中にある五重塔は、とても立派で迫力があり美しいものでした。

今回、出羽三山の一つである羽黒山を登りとても疲れましたが、様々な天然記念物を見られて、とてもいい体験をしたと思います。



PTA 歓送迎会に参加して

五月二十三日伝国の杜にてPTA 歓送迎会が行われました。毎年恒例になっており、学園長先生より教育の基本となる「心」の在り方、親子関係、さらに海外へ目を向けてと益々お元気で精力的なお話を頂きました。また、校長先生より現在の九里の様子や地域と社会情勢と、今私たちが直面している諸問題についてのお話を頂きました。特に校長先生におかれましては各学年、委員会、支部会、部活動の応援等々、どの場面にもお顔を出されます。この様に校長先生がいつも身近に感じられる高校は、おそらく他にはなかなかない事でしょう。先生方だけではありません。それ以上に長い、歴代のPTAの方々が現在もお深く学校に関わっておられます。

歓送迎会の特色の一つは、前年度卒業されました旧役員の方々をご招待することです。そしてお一人お一人壇上に上がっていただき、学園長先生より今までの活動に対するお礼の言葉と、先生直筆の記念の色紙が贈られます。このような光景を見る度に温かい気持ちになります。

このように九里学園は毎年毎年、「感謝の心」をもって皆さんとつながっていくのだという思いと「礼と譲」の長い歴史の重みを感じたところです。高崎 聡子

スクーリングカレンダー

7～12月

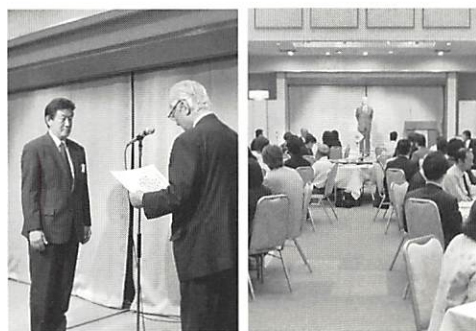
- 7 / 22 (火) ～ 26 (土) 夏期進学補講
- 7 / 22 (火) ～ 25 (金) 3年進路別補講
- 7 / 29 (火) ～ 31 (木) 進学合宿 (プロコースは8/1まで)
- 7 / 29 (火) ～ 8 / 2 (土) インターハイ
(埼玉県熊谷市：陸上競技部)
- 8 / 3 (日) ～ 7 (木) インターハイ
(埼玉県春日部市：卓球部)
- 8 / 25 (月) 授業開始
- 8 / 30 (土) ～ 31 (日) 九里祭
- 9 / 12 (金) 創立記念式典
- 9 / 13 (土) ～ 14 (日) 地区総体
- 9 / 16 (火) 入社試験開始
- 9 / 24 (水) ～ 26 (金) 前期末試験・前期終業式
- 10 / 1 (水) 後期始業式・任命式
- 10 / 4 (土) ～ 5 (日) 県新人大会 (屋外競技)
- 10 / 10 (金) ～ 12 (日) 県高校総合文化祭
- 10 / 17 (金) 体育祭
- 11 / 1 (土) ～ 2 (日) 県新人大会 (屋内競技)
- 11 / 5 (水) ～ 2年女子国内研修旅行、
2年女子オーストラリア研修旅行、
1年男子オーストラリア研修旅行、
2年プログレスコース海外研修旅行
- 12 / 3 (水) ～ 5 (金) 定期試験
- 12 / 22 (月) 全校集会

九里祭

一般公開
ご案内

8月31日(日) 10:00～15:00

楽しみに待っててね～



木村会長様
5年間御苦労様でした

編集後記

私の広報委員の仕事も二年目となりました。かつて生徒として通った校舎は今でもあたたかく迎え入れてくれています。

当時を思うと、共学になったり校舎や制服が新しくなったりして時の流れを感じつつ、編集の仕事で現在の生徒達の生き生きとした写真や、思いを込めた文章を数多く見て、あの頃と変わらない生徒の姿があるなあと感じました。ここでまた若いパワーをもらいながら広報委員一同、心一つにして学園通信を作り上げることができると感じています。そのたびに協力していただいた方々には心から感謝しております。

私も広報委員をやり始めて、年齢も考え方も違う人達との関わりで視野が広がったように思います。人間は何歳になっても常に勉強。いろんな人とのつながりを通じて、日々成長していけたらなあと思います。

(竹田由香理)